

令和7年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	1 年	教科名	音楽
教科担当			
教科書名	中学生の音楽、中学生の器楽		
副 教 材	Music Study		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点点が3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 音楽科の目標と評価について

教科の目標	(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を養い、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を育てる。 (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する能力を育てる。 (3) 多様な音楽のよさや美しさを味わい、幅広く主体的に鑑賞する能力を育てる。
評価の観点	1 知識・技能 ○曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。○創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 2 思考・判断・表現 ○音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 3 主体的に学習に取り組む態度 ○音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	○実技テスト、筆記テスト、ワークシートの内容や提出状況、授業記録、MusicStudy、授業への取り組み姿勢の観察など総合的に判断します。

2 音楽科の学習について

授業の進め方	・音楽の約束(音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など)を理解して、それらを生かして音楽の活動(歌唱、器楽、創作、鑑賞)に積極的に取り組みましょう。 ○曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現(演奏)ができるよう工夫しましょう。 ○楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ○自分の声(音)だけでなく周りの声(音)をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ○音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ○作曲家や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ○ワークシートには、自分の思いや考え、感じたこと(感想)を書きましょう。
単元テスト	○授業で取り組んだ題材から出題(音楽基礎、曲の構成、曲想など) ○授業内でやり取りした内容からの出題 ○音楽用語を使って、曲について自分の考えを記述する問題(どのように表現したらよいのか、曲にあった表現などを考えながら授業を受けること)

3 年間指導計画

4月～7月	①単元名(題材名) 思いをこめて合唱しよう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌っている。 ①単元名(教材名) イメージと音楽との関わりを感じ取ろう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ①単元名(教材名) 音楽の特徴に注目しながら、情景を思い浮かべよう ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ①単元名(教材名) 曲の構成を感じ取って、表現を工夫しよう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) ○楽器の音色や響きと奏法との関わりや曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現や歌唱表現を創意工夫して演奏している。 ①単元名(教材名) 音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) ○表したいイメージと関わらせながら、音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かした創作表現を創意工夫して旋律をつくる。
8月～ 12月	①単元名(教材名) 日本の民謡やアジアの諸民族の音楽の特徴を感じ取って、その魅力を味わおう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) ○音楽の特徴とその背景となる文化や歴史との関わり、我が国や郷土の伝統音楽及びアジア地域の諸民族の音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ①単元名(教材名) 曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌っている。 ①単元名(教材名) 曲想を感じ取って器楽表現を工夫しよう ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした器楽表現を創意工夫し、合わせて演奏する。 ①単元名(教材名) 曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌っている。

	①単元名(教材名) 曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
1月～ 3月	①単元名(教材名) 日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう ②主な評価の観点 ◎主体的に学習に取り組む態度 ○知識・技能 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫して歌う。 ①単元名(教材名) 日本に古くから伝わる合奏に親しみ、その魅力を味わおう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について自分なりに考え、音楽のよさや美しさを味わって聴く。 ①単元名(教材名) 仲間とともに、表情豊かに合唱しよう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌う。

令和7年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	2年	教科名	音楽
教科担当			
教科書名	中学生の音楽、中学生の器楽		
副教材	Music Study		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点も3観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっていることを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動(思考・判断・表現等)」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力(=学びに向かう力)」を育成することにつながります。

1 音楽科の目標と評価について

教科の目標	(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。 (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。 (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。
評価の観点	1 知識・技能 ○曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ○創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 2 思考・判断・表現 ○音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 3 主体的に学習に取り組む態度 ○音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価方法	○実技テスト、筆記テスト、ワークシートの内容や提出状況、授業記録、MusicStudy、授業への取り組み姿勢の観察など総合的に判断します。

2 音楽科の学習について

進授業方の	・音楽の約束(音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など)を理解して、それらを生かして音楽の活動(歌唱、器楽、創作、鑑賞)に積極的に取り組みましょう。 ○曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現(演奏)ができるよう工夫しましょう。 ○楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ○自分の声(音)だけでなく周りの声(音)をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ○音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ○作曲家や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ○ワークシートには、自分の思いや考え、感じたこと(感想)を書きましょう。
テスト単元	○授業で取り組んだ題材から出題(音楽基礎、曲の構成、曲想など) ○授業内でやり取りした内容からの出題 ○音楽用語を使って、曲について自分の考えを記述する問題(どのように表現したらよいのか、曲にあった表現などを考えながら授業を受けること)

3 年間指導計画

4月～ 7月	①単元名(教材名) 曲想と音楽の構造との関わりを理解して合唱しよう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌っている。 ①単元名(教材名) 言葉の抑揚を生かして、創作表現を工夫しよう ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) ○表したいイメージと関わらせながら、音階や言葉などの特徴及び音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して旋律をつくる。 ①単元名(教材名) 曲想と音楽の構造との関わりを理解して、その魅力を味わおう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○思考・判断・表現 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ①単元名(教材名) リコーダーの音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能 ③概ね満足な姿(B規準) ○楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫し、合わせて演奏している。
8月～ 12月	①単元名(教材名) 曲想と歌詞の内容との関わりを理解して、歌唱表現を工夫しよう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌う。 ①単元名(教材名) オペラに親しみ、その魅力を味わおう ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現 ③概ね満足な姿(B規準) ○音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ①単元名(教材名) 日本の歌のよさや美しさを感じ取って、歌唱表現を工夫しよう ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌っている。 ①単元名(教材名) 歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能 ③概ね満足な姿(B規準) ○音楽の特徴とその背景となる文化や歴史、他の芸術との関わりについて理解するとともに、生活や社会における音楽の意味や役割、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。 ○声の音色や響き及び言葉の特性と曲種に応じた発声との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌っている。 ○曲想と音楽の構造や曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫し、合わせて演奏している。

1月～
3月

- ①単元名(教材名) 世界の諸民族の音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう
②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度
③概ね満足な姿(B規準)
○諸外国の様々な音楽及び我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
- ①単元名(教材名) 音色や音の重なり方、反復や変化の特徴を捉えて、リズムアンサンブルの表現を工夫しよう
②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度
③概ね満足な姿(B規準)
○表したいイメージと関わらせながら、音素材の特徴及び音の重なり方や反復、変化、対照などの構成上の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して音楽をつくっている。
○曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫し、合わせて演奏している。
- ①単元名(教材名) 仲間とともに、表情豊かに合唱しよう
②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度
③概ね満足な姿(B規準)
○曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫し、合わせて歌う。

令和7年度 浦西中学校 各教科シラバス

学 年	3年	教科名	音楽
教科担当			
教科書名	中学生の音楽、中学生の器楽		
副教材	Music Study		

「シラバス」とは、各教科の授業内容や学習の方法、評価の方法などを記した総合的な学習計画のことです。浦西中学校の「シラバス」は、生徒の皆さんが1年間、何を学び、どのように学習を進めていくかを示すことで、見通しを持って、計画的・主体的に授業に取り組めることをねらいとして作成しています。

また、各教科の評価の観点としてシラバスに示してあります。

I「知識・技能」…各教科等で、学習する過程で身に付けた知識や技能の習得状況について評価を行います。また、それらを既に身に付けている知識や技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に、概念として理解したり技能を習得したりしているかについて評価を行います。

II「思考・判断・表現」…各教科等の知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力を身に付けているかを評価します。

III「主体的に学習に取り組む態度」…知識や技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みの中で、自ら学習を調整しようとしているかを評価します。

生徒の皆さんは、各教科の授業における「学び」が実生活とつながっているということを実感し、各教科が示す「基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得」ができるよう努力してください。さらに「各教科で学んだ基礎的・基本的な知識・技能を活用する活動（思考・判断・表現 等）」に積極的に取り組んで下さい。この地道な努力が、「主体的に学ぶ力（＝学びに向かう力）」を育成することにつながります。

1 音楽科の目標と評価について

教科 目標	(1) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音や音楽への興味・関心を高め、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、生涯にわたって音楽に親しんでいく態度を育てる。 (2) 多様な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する能力を高める。 (3) 多様な音楽に対する理解を深め、幅広く主体的に鑑賞する能力を高める。
評価 の 観点	1 知識・技能 ○曲想と音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。○創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。 2 思考・判断・表現 ○音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。 3 主体的に学習に取り組む態度 ○音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価 方法	○実技テスト、筆記テスト、ワークシートの内容や提出状況、授業記録、MusicStudy、授業への取り組み姿勢の観察など総合的に判断します。

2 音楽科の学習について

進 授 め 業 方 の	・音楽の約束（音符、拍子、音階、和音、強弱記号、速度記号など）を理解して、それらを生かして音楽の活動（歌唱、器楽、創作、鑑賞）に積極的に取り組みましょう。 ○曲の特徴やよさを理解して、ふさわしい表現（演奏）ができるよう工夫しましょう。 ○楽器の構造や特徴を理解し、それらを生かして演奏しましょう。 ○自分の声（音）だけでなく周りの声（音）をよく聴き、他者と話し合ったり、アドバイスし合ったりしながら、よりよい演奏となるよう工夫しましょう。 ○音のつながりに気をつけ、旋律やリズムを自分なりに工夫して創作しましょう。 ○作曲家や作詞者の思いや時代背景を知り、声や各楽器の音色、曲のつくり方などに気をつけて鑑賞しましょう。 ○ワークシートには、自分の思いや考え、感じたこと（感想）を書きましょう。
テ ス ト 単 元	○授業で取り組んだ題材から出題（音楽基礎、曲の構成、曲想など） ○授業内でやり取りした内容からの出題 ○音楽用語を使って、曲について自分の考えを記述する問題（どのように表現したらよいのか、曲にあった表現などを考えながら授業を受けること）

3 年間指導計画

4月～ 7月	①単元名(教材名) 日本の歌のよさや美しさを理解して、歌唱表現を工夫しよう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造や歌詞の内容及び曲の背景との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌っている。 ①単元名(教材名) 楽器の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造や楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏している。 ①単元名(教材名) 音楽の特徴や背景を理解して、その魅力を味わおう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○知識・技能 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造との関わり、音楽の特徴とその背景となる歴史との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠、生活や社会における音楽の意味や役割について考え、音楽のよさや美しさを味わっている。 ①単元名(教材名) 曲想やパートの役割を感じ取って、歌唱表現を工夫しよう ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌っている。
8月～ 12月	①単元名(教材名) 仲間とともに、表情豊かに合唱しよう ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌っている。 ①単元名(教材名) 楽器の音色と奏法との関わりを理解して、器楽表現を工夫しよう ②主な評価の観点 ◎知識・技能 ○思考・判断・表現 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造や楽器の音色や響きと奏法との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい器楽表現を創意工夫して演奏している。 ①単元名(教材名) 世界の様々な音楽の特徴を理解して、その魅力を味わおう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) ○諸外国の様々な音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性を理解するとともに、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わっている。 ①単元名(教材名) 音階の特徴及び音のつながり方の特徴を生かして、創作表現を工夫しよう ②主な評価の観点 ◎思考・判断・表現 ○主体的に学習に取り組む態度 ③概ね満足な姿(B規準) ○音階の特徴及び音のつながり方の特徴について理解するとともに、それらを生かしたまとまりのある創作表現を創意工夫して作っている。
1月～ 3月	①単元名(教材名) 日本と沖縄の伝統文化の特徴を理解して、その魅力を味わおう ②主な評価の観点 ◎主体的に学習に取り組む態度 ○知識・技能 ③概ね満足な姿(B規準) ○我が国の伝統音楽の特徴と、その特徴から生まれる音楽の多様性について理解するとともに、音楽表現の共通点や固有性について考え、音楽のよさや美しさを味わっている。 ①単元名(教材名) 曲の構成や曲想の変化を生かして、歌唱表現を工夫しよう ②主な評価の観点 ◎主体的に学習に取り組む態度 ○知識・技能 ③概ね満足な姿(B規準) ○曲想と音楽の構造や歌詞との関わりについて理解するとともに、それらを生かした曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫して歌っている。